

暑さ指数（WBGT）が高いときの下校について

多治見市立池田小学校

1. 基本的な考え方

※暑さ指数（WBGT）は、池田小学校のグラウンドで「熱中症指数計」で測定した値をもとに判断する。

※下校時刻時点で、暑さ指数（WBGT）が「33℃以上」の時は下校しないで学校に留め置く。

- ・児童のみで下校する場合は学校に留め置く。
- ・スクールバス利用児童は予定通り下校。
- ・お迎えの場合は予定通り下校。
- ・学童の場合は学童へ行く。

※暑さ指数（WBGT）が「33℃未満」に下がってから下校する。

- ・暑さ指数（WBGT）が「33℃未満」に下がった時点で、児童のみで下校する。
- ・最長17：00まで学校に留め置く。

※17：00をすぎても、暑さ指数（WBGT）が「33℃未満」に下がらない場合は、保護者による学校への引き取りをお願いします。

<参考>暑さ指数（WBGT）

◎気象庁発表の「熱中症警戒アラート（WBGT 33℃以上の予想情報）」の発表を酷暑日の判断基準としつつ、児童の活動を考える。

- ◆ WBGT 33℃を超えたとき・・・運動・屋外活動は中止（厳守）
- ◆ WBGT 31℃を超えたとき・・・運動・屋外活動は原則中止
- ◆ WBGT 28℃を超えたとき・・・激しい運動等は控える

2. 登下校について（熱中症予防のため）

- ・マスクを外して登下校することを推奨する。
- ・日傘、帽子、冷感タオルの使用を推奨する。
- ・安全な場所、日陰での休憩、水分補給（スポーツドリンク等の奨励）を適宜行う。

35

熱中症対策について

令和4年6月
多治見市教育委員会

★市内各小中学校にあっては、熱中症対策を下の「表3-1」を参考に、右の「対応1～2」に示すように行っていただくようお願いします。

熱中症環境保健マニュアル2018（環境省）

これで判断！

暑さ指数 (WBGT) (℃)	気球温度 (℃)	熱中症予防のための運動指針
31	27-35	運動は原則中止 特別の場合以外は中止。 特に、子どもの場合は中止すべき。
28	24-31	厳重警戒 激しい運動は中止 激しい運動は中止。積極的に休憩をとり、水分補給。体力のない者、暑さに慣れていない者は運動中止。
25	21-28	警戒 積極的に休憩 積極的に休憩をとり、水分補給。激しい運動では、30分おきぐらいに休憩。
21	18-24	注意 ほぼ安全 運動水分補給 死に事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意。運動の合間水分補給。 通常の熱中症の危険は小さいが、適量水分補給を行う。市民マラソン等ではこの条件でも要注意。

(日本体育協会 2013)

★急に暑くなった日や活動の初日などは特に注意！
★汗をかいた時には塩分補給も忘れずに！
★異状を感じたら、すぐに休ませ体を冷やし、水分補給
★呼びかけに対し返事がおかしい、意識がない時は躊躇することなく救急車を要請し、病院へ搬送

【対応2】
 ①「WBGTが31℃以上！」
 ●特別な場合以外は原則中止！
 ②「WBGTが33℃以上！」
 ●運動・屋外活動は中止！
 ※活動場所測定！

●校内へ情報を周知し、気温上昇に留意する！
 (児童生徒、職員へ情報を伝え、適切な気温測定をする。)
 ●さらに一人一人をよく見届け、水分補給、休息等の対応をする！
 (職員が指示をして必ず上記対応をする。)

●各活動内容や場所、天候・気温・湿度に留意し、児童生徒の健康状態を把握し、積極的に水分補給、休息をとるなどの対応を継続して行う。

熱中症警戒アラート発表！
 ■WBGTが33℃を超えると予測された日に発表される
 ■午前10時 防災無線&メールにて周知

1) 環境条件の問題には暑さ指数(WBGT)が望ましい。
 2) 乾燥温度を用いる場合には、湿度に注意する。湿度が高ければ、1ランク厳しい環境条件の運動指針を適用する。